

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No. 森林入門！ No. 木工クラフト体験
---------	---------------------------

学校名・団体名	高知市 小高坂児童館 / 山の一日先生：木育活動団体「こうち」
学年・生徒数	2～5年 8名
実施場所	高知市 小高坂児童館
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木とふれあい、山や木の大切さを学び、五感を使った木工体験をすることで子ども達の豊かな心を育む。</li> <li>・樹と木のつながりを感じ、木で作ることで物を大切に作る心が育ち、五感を使い木と向き合うことで創造力や工夫する力を育てる。</li> <li>・工作は根気や集中力、達成感などが得られ、子ども達の自信へとつながる。</li> </ul>
実施教科	
関連教科	
準備物	講師 座学…「森のお話」「お山の〇×クイズ」等に使用する資料 木工…「木のハンバーガー」作りに使用する各種材料、ボンドなど 体験… 木のおもちゃ各種

実施項目	座学（森のお話、お山の〇×クイズ、高知県の森林など） 木工（木のハンバーガーストラップ作り） 体験（木のおもちゃに触れ合う）
対象プログラム	No. 森林入門！ No. 木工クラフト体験
所要時間	座学 約30分、木工・体験 約60分
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学（森のお話、お山の〇×クイズ、高知県の森林など）              講師が挨拶をした後、講師の自作の教材（A4サイズ・紙芝居）を使い、森の役割などについて学んだ。（オリジナルキャラクター「おやまのモーリー」が主人公となり、手入れされない森はどうなるかなど、森林の大切さに気づくストーリーだった。）              お山の〇×クイズは、木や花の名前、木の特徴を当てるクイズだった。身近な植物で子ども達も興味を持ちやすい内容になっていた。              高知県の森林面積や人口林率などについても説明された。図や絵などでわかりやすくまとめられていた。</li> <li>・木工（木のハンバーガーストラップ作り）              木製のバンズをヤスリで磨き、フェルトを切って作った具材（パティ、トマト、チーズ、レタスなど）を挟んで固定して、上部にストラップ用フックや紐などを取り付けた。              子ども達は、大好きな食べ物であるハンバーガーに興味深々の様子で、楽しそうに好きな具材を選び、それぞれに個性のあるストラップが完成した。</li> <li>・体験（木のおもちゃと触れ合う）              最後に木のおもちゃと触れ合う体験をした。子ども達は直ぐに夢中になり、幾種類かのおもちゃで遊んだ。積み木をクリアすると歓声があがっていた。</li> </ul>

講師は子ども達に「木でできているものにはどんなものがある？」と質問した。「机、いす、家、紙」などの他、「エネルギーになる」と答えた子もいた。講師は「おもちゃや色々な身の回りのものに木が使われている。森は、空気をきれいにしたり、洪水を防いだりもする。僕たちは森と一緒に暮らしている。森を大切にしよう。」と話した。

#### 実施風景



#### 補足 その他、プログラムの 特徴

・児童館指導員が新聞紙面で講師を見たことがきっかけで、SNSなどの情報も調べて、木育活動団体「こうち」に依頼をしたとのことだった。

・講師の自作の教材は、かわいいイラストで話も短くまとめられており、小学校低学年以下にもわかりやすい内容であった。

・木のハンバーガーストラップは、刃物などを使わないため、小さな子どもでも安心して作ることができる。